

平成 24 年度 広島大学大学院理学研究科入学試験問題

化 学 専 攻

英 語

平成 23 年 8 月 23 日 9 : 00 ~ 11 : 00

注 意 事 項

1. 以下の用紙が配布されている。

問題用紙 (表紙を含む) 4 枚

解答用紙 2 枚

下書用紙 1 枚

2. 問題は全部で 2 問ある。2 問全てに解答せよ。

3. 解答用紙及び下書用紙の全てに受験番号を記入せよ。

4. 解答は問題ごとに指定された用紙を用い、用紙の枠内に記入せよ。

5. 試験終了時には、全ての解答用紙及び下書用紙を提出すること。

平成 24 年度 広島大学大学院理学研究科入学試験問題

化 学 専 攻

英 語

以下の〔Ⅰ〕と〔Ⅱ〕の2問に解答せよ。解答には問題ごとに指定された用紙を使用せよ。
解答は用紙の枠内に記入せよ。

〔Ⅰ〕次の日本語および英文を読み、以下の問い(i)～(v)に答えよ。

研究者は、成果を論文(paper)として発表する。大学院生も、研究がまとまると英語で論文を執筆する。したがって、論文が出版されるまでの主な過程、以下(1)～(4)を知っておくことは大変重要である。(1) 学術雑誌の規定に沿って原稿(manuscript)を執筆し、Web上で投稿(submit)する。(2) 原稿は、内容に問題がないか、論文として受理(accept)に値するかが、近い分野の複数の研究者により評価(査読)される。(3) 著者は、査読者の助言にもとづき、必要に応じて原稿を修正・改訂する。(4) 査読者ならびに編集者が、改訂原稿に問題がないと判断すると、論文として受理される。その後、スペル等の校正が行われ、最終的に冊子体や電子ジャーナルに論文として掲載され、世界中で出版・公表される。以上、投稿から出版までには、通常、数ヶ月の期間を要する。なお、論文には速報(communication または letter)と本論文(article または full length paper)があり、それぞれが表題(title)、要旨(abstract)、本文(text)から構成される。以下の英文は、アメリカ化学会の学術雑誌 Journal of the American Chemical Society への投稿における規定である。

著作権保護の問題があるため、掲載せず。

著作権保護の問題があるため、掲載せず。

(Notice to Authors of Papers, ACS publications より抜粋)

http://pubs.acs.org/paragonplus/submission/jacsat/jacsat_authguide.pdf

acronym : 頭字語, permit : 認める (許す), printed and Web editions : 冊子体と電子ジャーナル, Web submission : インターネットによる投稿, document : 文書, import of the work : その研究の重要性, excessively : 過度に (極度に), thoughtful : 思慮に富む, schemes and figures : 図, caption : 図や表などの説明文, casual : 偶然の (思いがけない), browser : 拾い読みする人, discern : 認識する, procedure : 手順, disciplines : 分野

- (i) 上の英文では、表題の作成において何が重要であると述べられているか。簡潔に答えよ。
- (ii) 下線部(ア)を日本語に訳せ。
- (iii) 下線部(イ)を日本語に訳せ。
- (iv) 上の英文では、論文においてどのような図を作成することが推奨されているか。その理由もあわせ説明せよ。
- (v) 上の英文では、実験結果とその記述にどのようなことが要求されているか。簡潔に説明せよ。

平成 24 年度 広島大学大学院理学研究科入学試験問題

化 学 専 攻

英 語

〔Ⅱ〕 次の文章(1)～(5)を英語に訳せ。

- (1) 得られたデータは、以前の結果とよく一致した。
- (2) 溶媒の粘度が高くなるにつれて、速度定数が減少した。
- (3) 化学の研究において、注意深く実験をすることが最も重要である。
- (4) 圧力は、力がかかっている面積で力の大きさを割ったものと定義される。
- (5) ベンゼンの吸光度は、濃度に比例した。

粘度：viscosity, 速度定数：rate constant, 力：force, 面積：area, 吸光度：absorbance